

十一日夜青木常務取締役へ面接付、職工四十四名、代表者小川松次郎外四名並職
委員會員市村田吉外四名ト會見折衝ヲ重キタルモ同常務ハ臨時手當ヲ本給三線ナル
ルコトハ調查上、不係ヨリ兼諾ヲ失人難シ然シ會社、調査上、職工一生活ニ安定ヲ手ヘ
メ償復金率ヲ査定シ出来得ル限、急遽ニ發表スヘキコトヲ聲明セバニシテ職工ハ會社
誠意ヲ致シ、就業セシムクシテ懲誥的ニ聲明不附テニシテ職工委員ハ尤奮レ居ルト
トテ常務声明ニニテハ「同ニ傳達スル、面目ナキ以テ右声明ヲ虎書シテ交付セレタシ
ト述ニ會社側之ニ容ル、二至三天數時間、會見モ更ニ不調ニ歸セリ」

會社側ハ旧役員職工四名至讓率奉シ味方シメント因ニ說ク利害ヲ以テレ遂ニ說
得ニ會社ト行動不共ニエビコニシテ、
職工代表委員集会ハ會社ヲ許シ不許シトモ、不二日午前三時三十分未更、事半功
議ニ至ル、散會セリ

職工側ハ代表委員と會社從事員ト、會見、類本報告ニ誤解ヲ生ヒる原因ニ破
解集会スル所トナリ、自義昂昂情勢トテ以テ今後、結束ヲ拡張圖ニシ持久戦ニ出ツル
計画ヲ整フル也、如ク此日會議本部ヲ中區元町荒谷勘次郎方ニ置キ各支部
コ督ニテ態度ヲ決定セシムニ努力メ居レリ

(十月十二日)

南區所在愛知時計電機株式會社瑞穂分工場（職工約三五〇名）ニ於テ、本社
職工、同盟罷業ニ鑑ミ、序月七日顧問及海軍中將ヲ聘シ一場、訓諭ヲ承メシニ席
上中將ハ此際要求事項アリハ提出スヘキヲ以テセシニ依リ、職工等ハ協議、未翌八日要
求書ヲ提出セリ

然シ本社ニ於ケル爭議ハ、糾紛、状況ヨリ分ニ場、職六、其四答合、速キシニテ、望
十二日長崎通ニテ會社三回答合促シ會社ハ急遽重役會議ヲ開キ左記回答
安本及堀井スルニ至リ、職工等ヲ解雇得テ同日午后六時田満解決シ十日、職工全部
平日一如、執務シ何等、異狀ナレ

要　　求　　書

一 現在割増三本給ニ割引増加三本給ニ引直スニト